

(2005.09.426) 2012.12.426

3

4

5

6

7

8

部番	部品名	材質	摘要
1	ケース	PA (ポリアミド樹脂)	—
2	ハンドル	PBT樹脂	—
3	操作レバー	PBT樹脂	—
4	端子ドア	POM (ポリアセタル樹脂)	—
5	ロックレバー	POM (ポリアセタル樹脂)	—

- 電源側 相・電圧切替え方法について
- プラグイン端子の位置を確認してください。
 - 負荷の使用電圧 (AC100VもしくはAC200V) ・相に合わせ、プラグイン端子の位置を切り替えてください。
 - 電源側端子ドアを開けてプラグイン選択端子を切り替えてください。端子ドアが閉じたままでは切り替えができません。
 - 切り替えはドライバーで行ってください。切り替えが不完全な場合、盤ブスバーへの差し込みができません。切り替えが不完全なまま無理に差し込むと、破損、発熱・焼損にいたりします。
 - 切替え終了後は必ず端子ドアを閉めてください。端子ドアが閉まっていないと盤に取り付けできません。端子ドアが閉まってないまま無理に盤に取り付けると破損にいたりします。
- 注) 盤に取り付けた状態では切り替えできません。
 注) 端子ドアの開閉荷重が高すぎる (10N以上) と破損にいたりします。
 注) 端子ドアの開閉角度が大きすぎる (90°以上) と破損にいたりします。
 注) L1極にプラグイン選択端子が無いことを確認して他極のプラグイン選択端子の位置を切り替えてください。プラグイン選択端子がある極に他極のプラグイン選択端子を切り替えると破損にいたりします。

警告

- 破損の原因となりますので分電盤を構成する部品 (ヒンジ部など) に油、薬品、洗剤 (中性洗剤含む) をつけないでください。
- 感電の恐れがありますので、カバーをあけないでください。

注意

感電や電気器具故障の原因となる場合がありますので付属の取扱説明書を必ずお読みください。

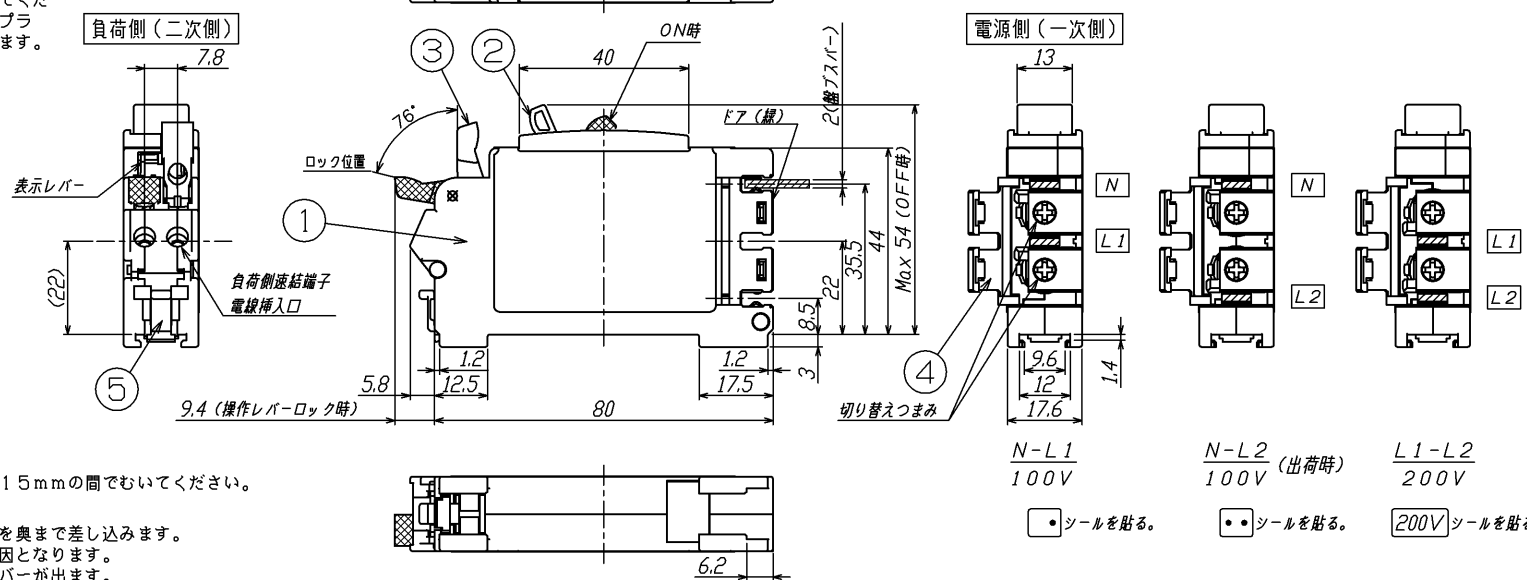
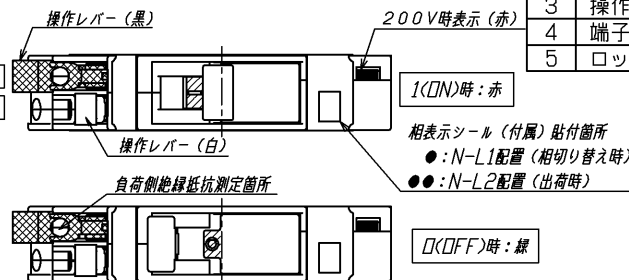
- 負荷側速結端子への電線接続について
- ストリップゲージに電線を合わせ被覆を12~15mmの間でむいてください。

ストリップ長 12~15mm

- 負荷側操作レバーを起こして電線挿入口に電線を奥まで差し込みます。
※電線の挿入が不十分な場合、発熱・発火の原因となります。
 - 電線が奥まで差し込まれていれば緑色の表示レバーが出ます。
操作レバーを倒してロックしてください。
ロック後電線を軽く引いて抜けないことを確認してください。
 - 電線を抜く場合は、操作レバーを起こして電線を抜いてください。
- 注) 1つの電線挿入口に2本以上の電線を差し込まないでください。
 注) 操作レバーの押し込み荷重が高すぎる (50N以上) と破損にいたりします。
 注) 電線の押し込み荷重が高すぎる (100N以上) と破損にいたりします。
- 接続電線: Cu (銅) 単線専用
 定格電流 15A: $\phi 1.6 \cdot \phi 2 \cdot \phi 2.6$
 ※より線の場合は棒状圧着端子を使用してください。

より線サイズ	適合棒状圧着端子品番
1.25mm ² ・2.0mm ²	TC 2-20 (棒状圧着端子) VC 1-2 (絶縁キャップ) ※ニチフ製
3.5mm ² ・5.5mm ²	TC 5.5-15ST-C (絶縁キャップ付棒状圧着端子) ※ニチフ製

形名	NSB32JN30A
極・素子数	2P2E
定格電圧	AC100/200V
定格電流	30A
定格遮断容量	2500A
定格コード保護電流	2500A
基準周囲温度	40℃
適合規格	電気用品安全法 特定電気用品
コード短絡保護用瞬時機能付き	
注) 瞬時機能は、交流350A半波で作動します。 突入電流が大きい負荷は、ブレーカが作動する可能性があります。	



■新旧相表示 (旧は盤組み込み品)

	新 (JN)	旧 (J)
N-L1 配置	・	Ⓐ
N-L2 配置	・・	Ⓑ

承認 APPROVED BY	担当 CHARGED BY	名称 TITLE
高橋	鎌田	プチパネリア分岐用 東芝分岐ブレーカ
TOSHIBA 東芝ライテック株式会社 TOSHIBA LIGHTING & TECHNOLOGY CORP.		形名 MODEL NO. NSB32JN30A
		図面番号 DRAWING NO. AA2005-03862-06
		第三角法 3RD ANGLE PROJECTION 尺度 SCALE 単位 UNITS mm

日本国内専用 (Use only in Japan)

<生産完了 2018年07月25日>